

令和4年度 生徒アンケートの結果について

1 回答した生徒について

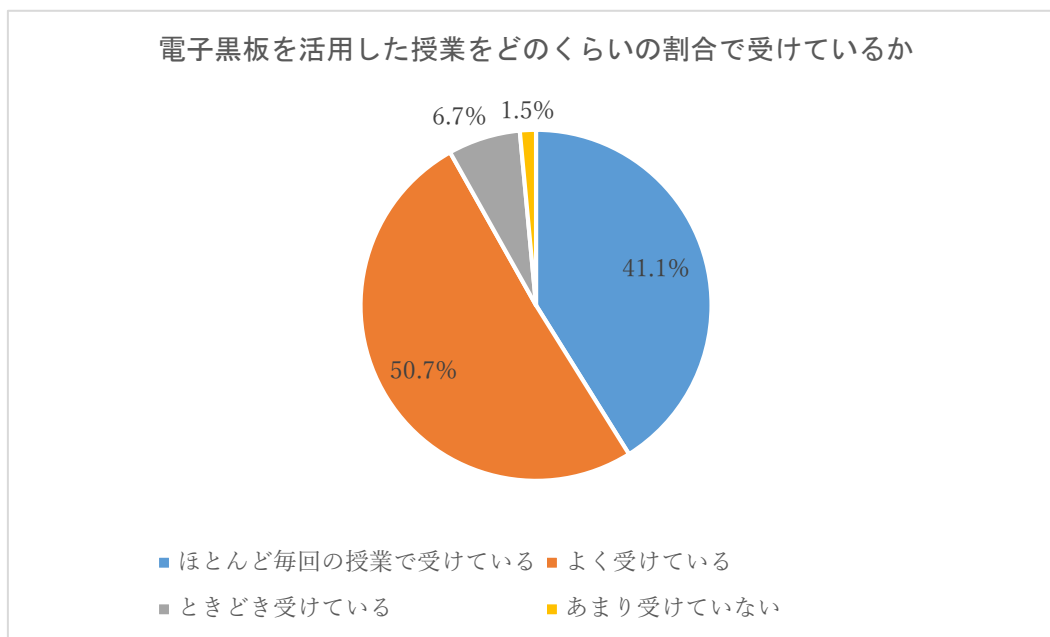
- ・ 1学年の生徒、270名。

2 質問内容について

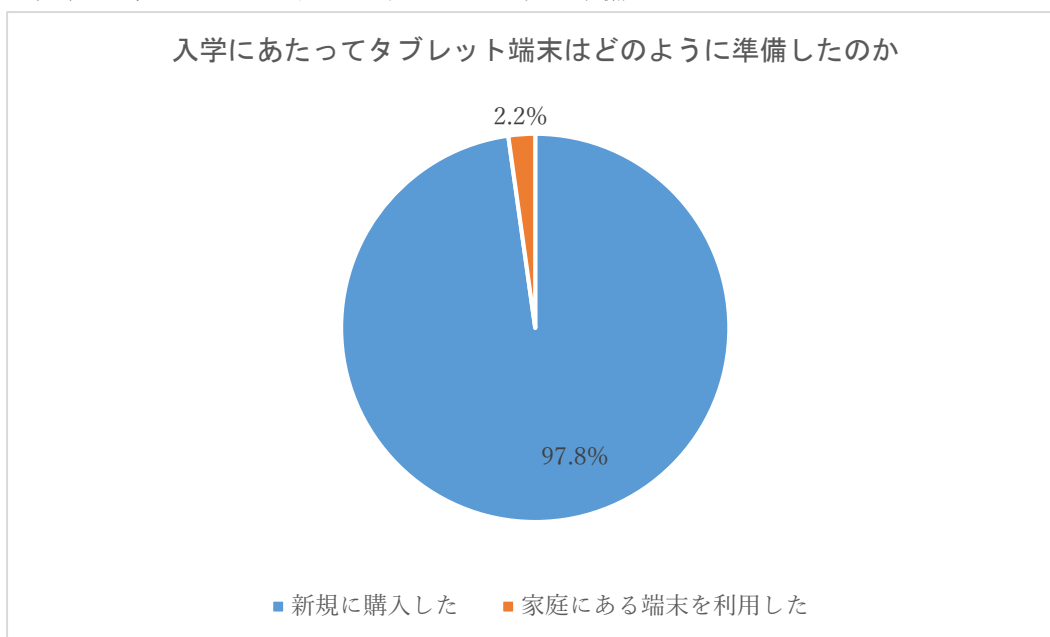
グローバル教育に関するアンケート12問を令和5年2月に実施した。質問内容については次の通りである。

- (1) グローバル教育研究推進校として実施した様々な教育活動をとおして、グローバル人材やグローバル教育について考える機会が増えたか。
- (2) グローバル教育研究推進校としての教育活動の中で、特に興味・関心のあるものを2つ選ぶ。
 - ・ 英語の学校設定科目「コミュニケーションスキルズ」の設置と少人数教育
 - ・ 校内英語スピーチ・プレゼンテーションコンテスト
 - ・ 韓国、オーストラリア、ニュージーランドとの姉妹校等交流
 - ・ グローバル講演会（横浜市立みなと赤十字病院看護師による講演会）
 - ・ 実用英語技能検定の1次試験会場、GTECの受検
 - ・ 予備校の協力によるネイティブ講師による英検2次対策講座
 - ・ 日本赤十字社をはじめとする外部機関との連携
- (3) 電子黒板を活用した授業をどのくらいの割合で受けているか。
- (4) 入学時にタブレット端末をどのように準備したか
- (5) タブレット端末の機種は何を使用しているか。
- (6) タブレット端末を利用した授業をどのくらいの割合で受けているか。
- (7) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業によって、学習の理解度や意欲・関心が高まると思うか。
- (8) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業によって、発表する力やプレゼンテーション能力を伸ばすことができると思うか。
- (9) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業で、印象に残る活動について答える。【任意回答】
- (10) 本校では総合的な探究の時間において国際理解研究をテーマに取り組んでいる。この取組をとおして、高校に入学してから、国際社会の諸問題について考える機会が増えたか。
- (11) 特に興味をもつようになった国際社会の諸問題について答える。【任意回答】

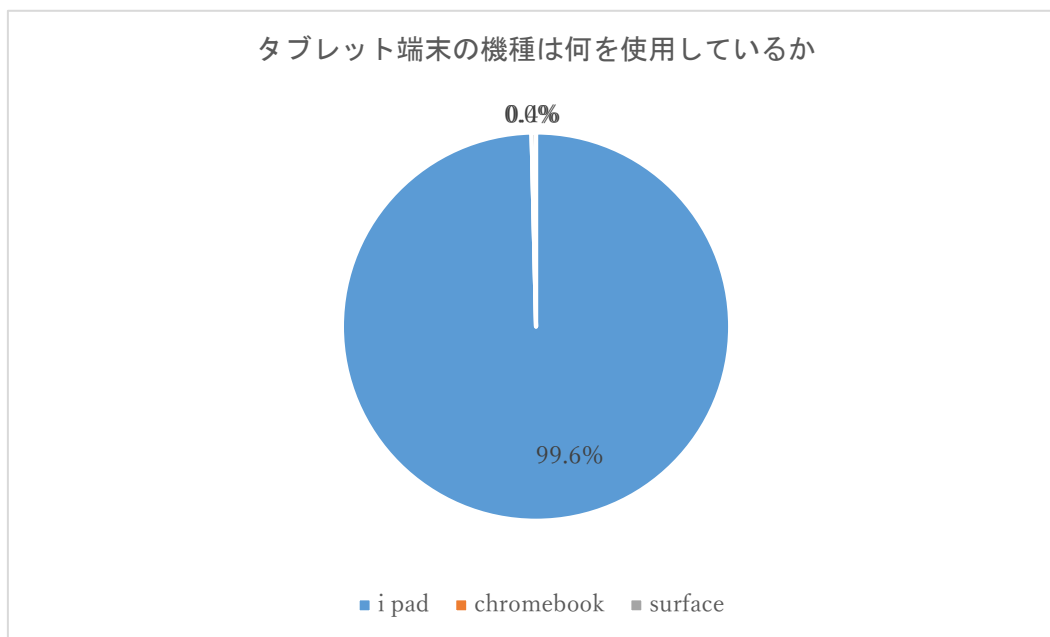
(3) 電子黒板を活用した授業をどのくらいの割合で受けているか。



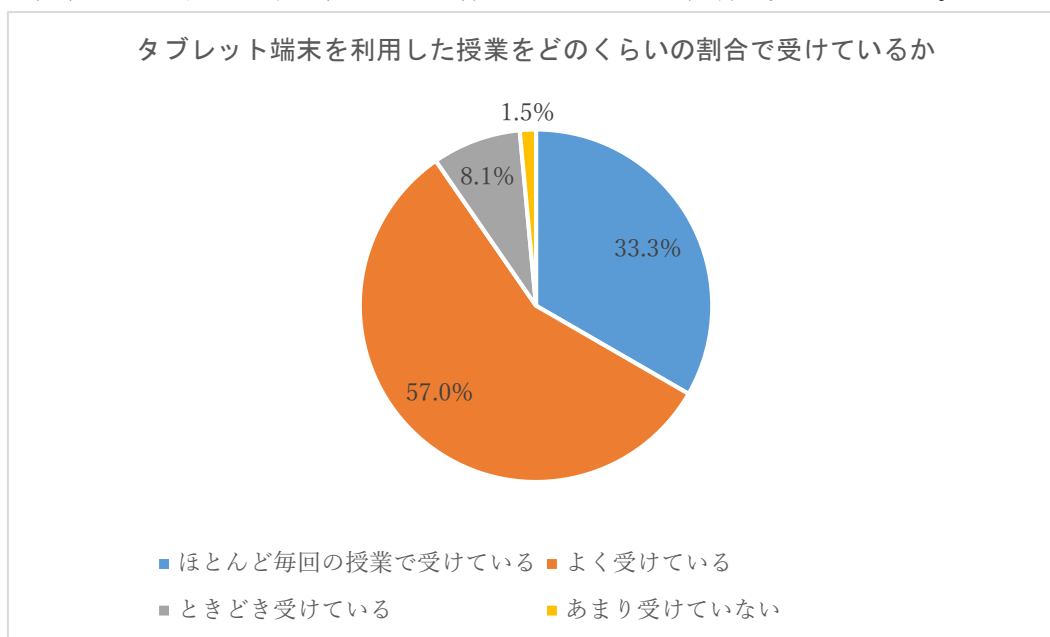
(4) 入学時にタブレット端末をどのように準備したか



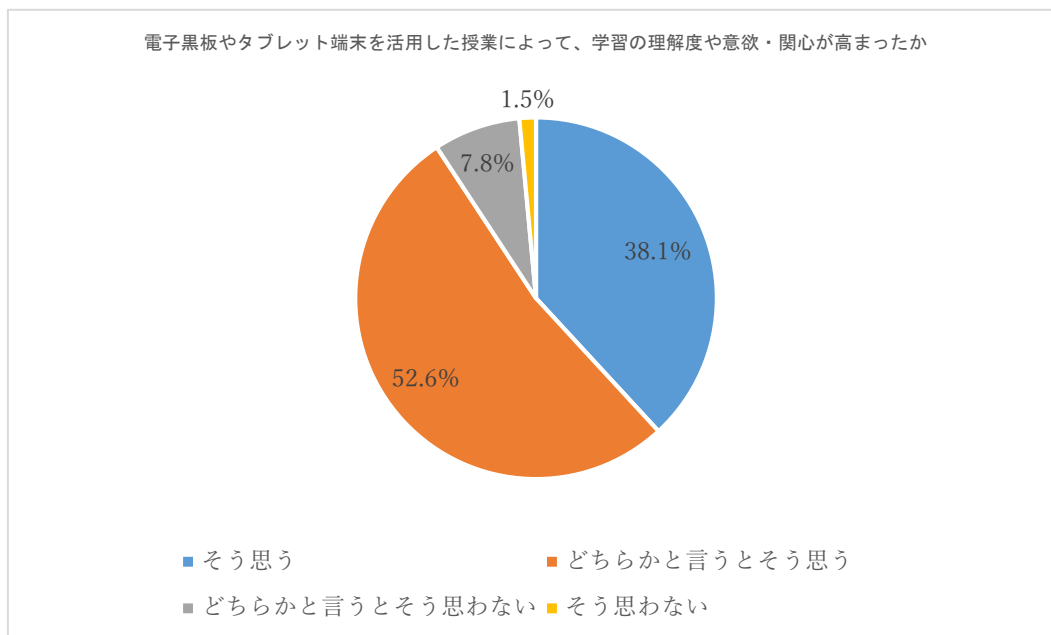
(5) タブレット端末の機種は何を使用しているか。



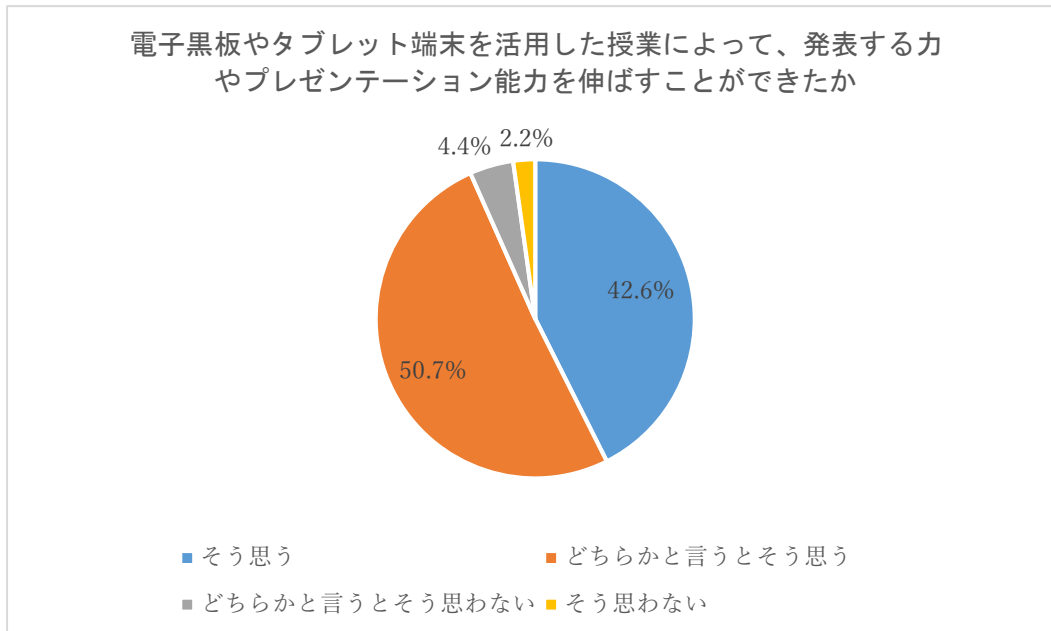
(6) タブレット端末を利用した授業をどのくらいの割合で受けているか。



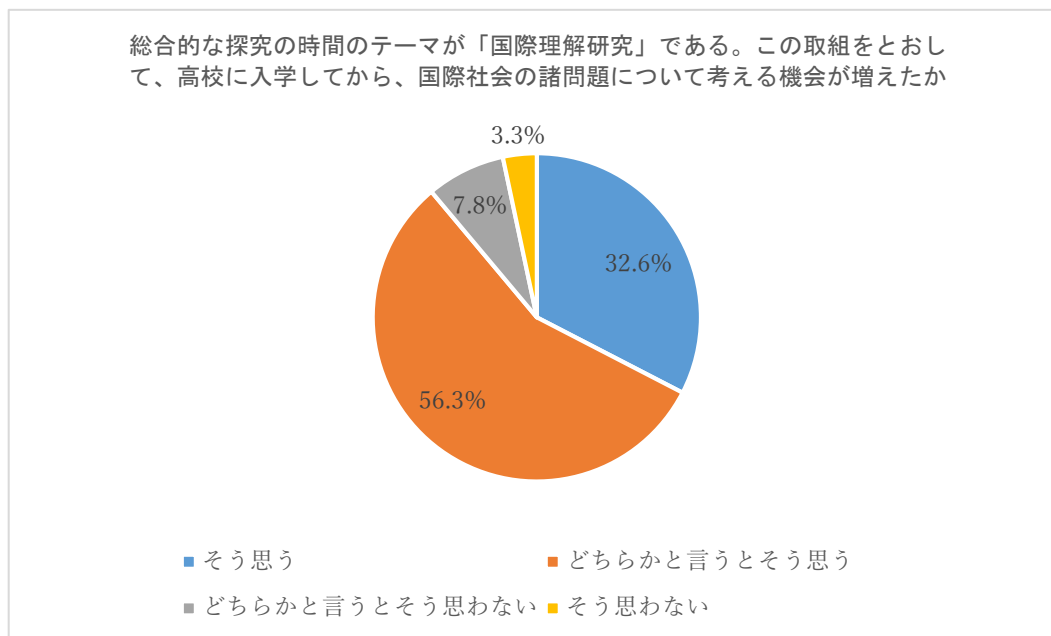
(7) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業によって、学習の理解度や意欲・関心が高まると思うか。



(8) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業によって、発表する力やプレゼンテーション能力を伸ばすことができると思うか。



(10) 本校では総合的な探究の時間において国際理解研究をテーマに取り組んでいる。この取組をとおして、高校に入学してから、国際社会の諸問題について考える機会が増えたか。



4 結果の分析について

肯定的な意見と否定的な意見の回答割合を比較してみると、次の通りになる。

項目	肯定的 (%)	否定的 (%)
(1) グローバル人材やグローバル教育について考える機会が増えたか。	88.1%	11.9%
(3) 電子黒板を活用した授業をどのくらいの割合で受けているか。	91.9%	8.1%
(6) タブレット端末を利用した授業をどのくらいの割合で受けているか。	90.4%	9.6%
(7) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業によって、学習の理解度や意欲・関心が高まったか。	90.7%	9.3%
(8) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業によって、発表する力やプレゼンテーション能力を伸ばすことができたか。	93.3%	6.7%
(10) 総合的な探究の時間のテーマが「国際理解研究」である。この取組をとおして、高校に入学してから、国際社会の諸問題について考える機会が増えたか。	88.9%	11.1%

(2) グローバル教育研究推進校としての教育活動の中で、特に興味・関心のあるもの
【2つ選択する】

	割合 (%)
英語の学校設定科目「コミュニケーションスキルズ」の設置と少人数教育	54.1%
韓国、オーストラリア、ニュージーランドとの姉妹校等交流	37.4%
実用英語技能検定の1次試験会場、GTECの受検	34.1%
予備校の協力によるネイティブ講師による英検2次対策講座	23.0%
校内英語スピーチ・プレゼンテーションコンテスト	22.2%
日本赤十字社をはじめとする外部機関との連携	18.5%
グローバル講演会	10.7%

「(1) グローバル人材やグローバル教育について考える機会」が約88%、「(10) 国際社会の諸問題について考える機会」が約93%の生徒が肯定的な回答をしている。このことは、高等学校入学以降、グローバル社会について考える機会が増えていると実感している生徒が多い。また、グローバルにかかわる教育活動で興味・関心があることとしては、学校設定科目「コミュニケーションスキルズ」が約55%、姉妹校等の交流、実用英語技能検定の準会場やGTECの受検がそれぞれ約35%前後と、他校(指定校以外の学校)にはない教育活動を多くの生徒が挙げている。

「(3) 電子黒板を活用した授業をどのくらいの割合で受けているか」や「(6) タブレット端末を利用した授業をどのくらいの割合で受けているか」では90%を超える生徒が「よく、もしくは、ほとんど受けている」と回答しており、教員が電子黒板やタブレット端末を授業で積極的に利用している様子がうかがえる。

さらに「(7) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業によって、学習の理解度や意欲・関心が高まったか」や「(8) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業によって、発表する力やプレゼンテーション能力を伸ばすことができたか」でも、90%を超える生徒が「そう思う、もしくは、どちらかと言えばそう思う」と回答しており、電子黒板やタブレット端末の利用は、生徒の学習理解度や意欲、関心、プレゼンテーション力の向上に寄与していることがうかがえる。

このことから、今後も現在実施している教育活動を今後も着実に実施していくことが必要であると考えられる。